

卒業証書授与式 式辞

校長 澤山 陽一

伊予農の校舎に柔らかく降り注ぎ始めた陽射し、校庭で咲き始めた花々、すべての物に春の兆しの感じられる今日の佳き日に、御来賓の御臨席、保護者の皆様方の御出席をいただき、令和3年度 愛媛県立伊予農業高等学校卒業証書授与式を挙行できますことは、在校生、教職員一同の大きな喜びであり、厚くお礼を申し上げます。

本年度も在校生すべての出席はかないませんが、各学科の2年生が、卒業生のために学科のイメージカラーで心を込めてコサージュを手づくりしました。そのコサージュを付けた卒業生の皆さんの姿は、ホームルーム教室で見守る在校生たちにもしっかり届いていることと思います。

卒業生の保護者の皆様には、入学以来3年間、お子様の健やかな成長を願い、陰になり日なたとなって支えてこられた愛情の深さに心から敬意を表しますとともに、無事に卒業の日を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、ただ今、卒業証書を授与しました卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。私は、皆さんとは、入学以来3年間のお付き合いでしたが、学校行事や部活動を通じて見せてくれた礼儀正しい振る舞い、そして、どんな状況の下でも懸命に汗出し、声出し、力を出して頑張ってくれた皆さんの逞しさは、私の、そして伊予農の誇りでした。たくさんの感動を本当にありがとうございました。

私は、みなさんが入学する前に、高校入試の作文の「魅力的な大人のイメージについてあなたの考えを述べなさい」という出題に対して、みなさんが書いた作文を全部読み、その感想を入学式の式辞でお話しました。みなさんの作文では、魅力的な大人として、「介護福祉士をしている母」、「家族のために仕事に精を出している父」等が挙げられていましたが、私が最も気に入ったものは「私が大人になったら、マナーが良く、仕事もできて、部下などにも優しく接し『憧れの大人』と思われるような大人になりたい」という意見でした。特に「仕事もでき」というところが重要で、みなさんが将来就職をした際、その職場で「伊予農の卒業生はやっぱり仕事ができる」と言われるようになってほしいとお話したと思います。そして、そのためには、仕事の成り行きを想像し、次に何をすればよいかを想像する力である「段取り力」と他人と心を通わせて協力できる力である「コミュニケーション力」の2つを意識して3年間を丁寧に生活するようお伝えしました。

みなさん、自分自身で3年間を振り返ってどうでしたか。「段取り力」と「コミュニケーション力」は、身についたのでしょうか。校長の私は、「大丈夫。完璧です。」と声を大にして言えます。なぜなら、みなさんは、実験や実習、部活動、地域と連携した多くの活動を通じて、自分では意識しないうちに他校では身に付けられない、多くの実践力を体得していると断言できるからです。どうか、自信をもって伊予農を旅立ってください。

いよいよ、お別れのときがやってまいりました。みなさんのかけがえない一

度きりの人生は、まさしく「いまから、ここから」始まります。これから、新しい学校で、新しい職場で、もし失敗しても、たとえ悲しいことがあったとしても、それはそれで受け止めて反省すればいいのです。あなたは、その時その時に新しいあなたに生まれ変わることができます。また立ち上がって、前を向いて、全ては「いまから、ここから」始まるんだと思って、歩き始めてください。

皆さんが、これから、それぞれの場所で、自分自身のために、そして大切な誰かのために生き、豊かな毎日を送られることを心から祈念して、式辞といたします。